

一般社団法人日本国際看護学会第8回学術集会開催にあたって

日本国際看護学会第8回学術集会会長
桑野紀子（大分県立看護科学大学）

日本国際看護学会第8回学術集会にご参加の皆様と学術集会の企画運営をご支援頂いた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

九州では初となる日本国際看護学会学術集会を大分県で開催させていただく機会をいただき、また、昨年度に続き対面での開催ができますことを大変嬉しく有難く思います。遠方からは九州での現地参加が難しい方もいらっしゃることを考慮し、学会1日目の一部のプログラムをオンデマンド配信、2日目はハイブリット開催で提供致します。

本学会は、2023年度に一般社団法人として新たな節目を迎えました。研究会から学会へ、日本学術会議協力学術研究団体指定を経て、一般社団法人へと、本学会をより活発な活動へと導いてくださった皆様に、一学会員としてこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

本学術集会では、メインテーマを「イーミックとエティックでつなげる国際看護 ～多文化理解は看護の発展にどのように寄与するか～」と致しました。自己の文化を見つめなおすことから出発し、多文化理解について今一度熟考することを通して、これからの国際看護について多くの皆様と楽しく語り合える場になれば大変幸いです。

大分県は別府や湯布院に代表される「おんせん県」です。天然温泉の高熱で魚介や野菜を蒸す「地獄蒸し」、海の幸をふんだんに使った海鮮丼やふぐ、郷土料理の一つであると天、豊後牛等「味力も満載」です。学会へのご参加と併せて、おおいた観光も、ぜひ楽しんでいただければ幸いです。

最後になりましたが、日本国際看護学会第8回学術集会の開催にあたり、多くの方々のご支援・ご協力を賜りました。ここに心より感謝申し上げます。

2024年10月5日